

KBSグループ代表の小泉です。いつも広報紙「Together」をご覧いただきありがとうございます。

2025年も年の瀬を迎えました。皆様にとってどのような1年でしたでしょうか。

物価上昇が叫ばれる中販売価格を見直す事業者が増える一方、実質可処分所得が中々向上せず、余暇やレジャーに消費が回らないという厳しい市場動向が続いております。経営者の皆様におかれましては難しい舵取りを行っておられることと拝察いたします。

このような状況においても着実に業績を上げているところもあります。ハードやソフトの充実を図りつつ滞在時間の価値向上に着目した宿泊施設や素材の良さを直にお客様にお見せするライブ感のある飲食店等、弊社のクライアントにおいても知恵を絞って業績を伸ばすところは少なくありません。モノ消費からコト消費への転換と言われて久しいですが、まだ打ち手はあると感じております。

まもなく訪れる2026年は午年です。馬のように縦横無尽に市場を駆け回る1年としましょう。

今年も1年間ありがとうございました。来年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。

株式会社KBS創研・株式会社KBSエンタープライズ
代表取締役 小泉 壽宏



現地レポート 沖縄県・与那国島 視察レポート 2025年10月26日(日)～10月27日(月)

去る10月26日(日)から1泊2日で沖縄県八重山郡与那国町の与那国島を視察してまいりました。黒潮本流がぶつかる孤島で様々な魚種と遭遇できることからアングラーやダイバーに大変人気です。しかしその魅力は海の中だけではなく。沖縄本島や石垣島、宮古島のようなリゾートではないため旅行会社としてお客様にご案内するには入念な準備と様々な案内が必要ですが、それさえ適切に行うことで他所では体験する事ができないユニークな滞在を提案する事ができるでしょう。今号では小泉が感じた与那国島の魅力と旅行企画にあたっての留意点をご案内いたします。

■与那国島の概要

日本最西端の島。沖縄本島から南西へ509km、石垣島から127km、そして東京からは約2,100kmに位置する一方、お隣の台湾とは僅か111kmの距離です。町役場のある祖納(そない)、日本最西端のまち久部良(くぶら)、そしてドラマや映画で有名なDr.コトー診療所の舞台となった比川(ひがわ)の3つの集落には1,660人(令和7年9月末)が暮らします。(観光入込客数は令和6年暦年実績で43,556人でした。)



西崎展望台

亜熱帯気候で年間を通じて温かく、年平均気温は23.8度。独自の生態系が生まれ、世界最大の蛾として知られるヨナグニサンを始め多様な生物が生息します。



出典：与那国町「日本の最西端 与那国」

■小泉が与那国島で感じた魅力とは

●「絶海の孤島」与那国島ならではの自然と文化が味わえる

世界最大級の大きさの蛾であるヨナグニサンや日本在来馬のヨナグニウマ、そしてヨナグニマルバメクワガタ等の固有亜種といった与那国島でしか見ることでできない生き物が数多く存在します。また独特の風土と手作りによって染め織り上げられた与那国織やクバ(椰子の木の一種)を利用した伝統工芸品、そしてこの島でのみ製造を許されたアルコール度数60度の花酒等、与那国島の生活に深く関わる文化が今日でも色濃く残っています。

●「近代的な施設が少ない」 便利さを削ぎ落とし、自分を見直す場

与那国島にはコンビニエンスストアや石垣島、宮古島に見られる高級リゾートホテルはありません。身の回りの品物は共同売店で購入し、宿泊は主に民宿等やペンションを利用します。食事ができる店は多いとは言えず、個人経営の飲食店はご家庭の事情で休業することもあります。一方3つの集落を一步出ると、崖の海岸が多く起伏に富んだ与那国島のダイナミックな風景が広がります。夜には都会では味わえない満天の星空を観ることもできるでしょう。与那国島での滞在を通じ、便利さとは裏腹に失ったものがあることに気づかされます。自分を見直す場としても最適な場所だと思えます。

●「食の魅力」 自然と暮らしに育まれたシンプルな食の旨さに触れる

日本最西端の居酒屋として知られる海響(いすん)さんではカジキマグロを、久部良港の漁協が運営する漁協食堂さんではカジキ以外にセーイカ、イラブチャー、そしてクロマチ等黒潮本流の幸をふんだんに味わいました。料理方法は極めてシンプルで刺身やフライとして頂きましたが、自然の旨さが口いっぱいに広がり贅沢な気分にさせてくれます。また島では抗酸化要素を多く含む長命草が古くから親しまれ、白和え等居酒屋では長命草を使った料理を頂く事もできます。



ディンダバナから祖納のまちを望む



久部良港漁協食堂の漁協定食



アルコール度数60度の花酒(右)

■ 旅行企画の留意点

●【与那国への交通】ほぼ問題なし、但し時期に注意

与那国島へは石垣島から船便もありますが、飛行機がお勧めです。日本エアコミューター(RAC)が那覇から2便(約80分)、石垣から3便(約30分)就航しており、比較的便利であるといえます(便数は時期によって異なります)。但し与那国島は行事やイベントが多く、時期を見極めて計画を立てることが重要です。

●【島での交通】レンタカーの確保をお勧め

無料の生活路線バスが島内主要箇所を結んでいます。1日9本ですが夜遅い便もあるので、居酒屋で一杯やりたい時は便利です。しかし日中の観光はレンタカーが格段に便利です(私の借りた車はかなり年季が入っていてナビはありませんでしたが不自由は感じませんでした)。その他レンタサイクルやバイクもあります。

●【島での宿泊】

民宿やペンションが中心ですが、大半はWebでの予約環境がなく電話等での予約となります。また2ヵ月前から等予約の受付に制限を設けているところもあります。最近では(株)むんぶさんが与那国島に進出されコンテナハウス風のホテルを4軒展開しておりますが、こちらは公式HPや楽天トラベル、じゃらんネットからの予約ができて便利です。島の方との交流を望む人は民宿

やペンションを、快適さを求めるなら(株)むんぶさんのホテルを利用するのがいいでしょう。コロナ中に休館していた与那国島最大の宿泊施設「アイランドホテル与那国」が間もなく再開するという情報を入手しました。

●【島での観光】まずざっと一周。その次はテーマを決めて

周囲約27kmの小さな島ですのでまず、1周して土地勘を掴みましょう。そしてその次はテーマを決めてじっくり各所を訪ねるのがいいのではないのでしょうか。例えば文化に触れるのであれば祖納のDiDi与那国交流館や与那国町伝統工芸館で島のことを学びその後お目当ての場所へ行きます。また自然についてはアヤミハビル館で丁寧に教えてください。

●【島での食事】昼は共同売店併用、夜は予約必須です

魅力のある飲食店が多いですが家族経営のところが多く、昼食は予約できないところが多いです。そこでまず共同売店でパン等の軽食を入手した上で店を訪問しましょう。また夜は仮に1人でも予約必須と考えた方がいいです。

タクシーや代行はありますが台数が非常に少なく、宿泊箇所近くの店を予約するか、ドライバーの方はノンアルコール飲料で楽しみましょう。

沖縄本島や石垣島、宮古島も楽しいですが、一度は日本最西端の島「与那国島」を訪問されることをお勧めします。人生観が変わるかもしれませんよ。

編集 後記

「普段行けない場所に行きたい」「ストレスから解放されたい」……そんな人たちを魅了する日本の最西端・与那国島。旅行を最大限に楽しむために事前準備は必須のようですが、超自然派の方々にとっては、レポートを読んで「今すぐ行きたい!」気持ち止まらないのではないのでしょうか。まさに人生観が変わりそうですね。来年、皆様にとって良い年でありますように。(増田)

KBSグループ

株式会社 KBS 創研 経営革新等支援機関 近財金 1 第 241 号 20130528 近畿第 74 号

株式会社 KBS エンタープライズ 兵庫県知事登録 旅行業者代表業 第 176 号 (所属旅行業者 株式会社シニア旅行カウンセラーズ)

本社: 〒661-0003 兵庫県尼崎市富松町3丁目1-5-203